

2019年6月2日

## 福音書からのメッセージ

また、彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、お願いします。

(ヨハネによる福音書 17 章 20 節)

イエス様はご自分が十字架につけられるその前に、弟子たちに二つのことを約束されました。一つは聖霊を与えるということ。そしてもう一つは、必ず帰ってくるということでした。そして今日読まれたヨハネ福音書 17 章は、まさにイエス様が十字架につけられる直前です。そのときにイエス様は一体何をされたのでしょうか。それは一言で言うと、とりなしの祈りです。

そしてイエス様は、目の前にいる人たちのためだけではなく、あとからイエス様を信じ、信仰に入った人々のためにも祈られました。つまり、わたしたち一人一人のためにも、イエス様は祈っておられるのです。イエス様とわたしたちは今、面と向かってお話することも、肉体をもったイエス様に触れることもできません。しかしイエス様はわたしたちに聖霊を送り、そして祈ってくださいている。そのことを思うときに、何ともいえない温かさを感じると共に、とてもうれしく思います。

ではイエス様は一体、どのようなお祈りをされているのでしょうか。今日の福音書には、何度も出てくる言葉があります。それは「一つ」という言葉です。イエス様が「あなたとわたしとは一つだ」って言われたら、何だかうれしいものです。神さまとの交わりのうちに自分も含まれていると感じることができて、大きな喜びを感じることができます。しかし、「あなたがたが一つとなるように」と言われたときに、少し窮屈さを感じる人もいるかもしれません。今、自分とはまったく違う考えを持っている人がいたときに、果たして「一つ」となれ



るのだろうか。

わたしたち一人一人は、違った人間です。物の考え方も違えば、あらゆる出来事に対する捉え方も違います。感情表現の仕方も違いますし、政治に対する見方も人それぞれです。それらのことも含めて、まったく一緒になることは不可能です。しかしイエス様の「一つになる」という言葉は、そのように同じ人間になることを指しているのではありません。

イエス様は、「わたしたちが一つであるように、彼らも一つになる」と祈られました。神さまとイエス様とが一つであるように、わたしたちも一つとなる。神さまとイエス様の関係の中に、わたしたちも取り込まれていく。それがイエス様の願いなのです。決してイエス様のようにはなれないわたしたちです。しかしイエス様につらなるとき、「あなたとわたしは一つだ」と言ってくださるのです。

わたしたちは、それぞれ違う。でもわたしたちが集まって、一つになる。みんな一人一人違う。そこには共通点が一つだけあります。それはみな、神さまの子だということです。神さまの子としてイエス様に導かれ、結ばれている。そしてわたしたちはそのことにおいてのみ、一つとなるのです。

### 桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

Tel/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nsskk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannnari.com/>